

[WINSTAR CAD Ver.14]からのバージョンアップ内容一覧

新設、強化のあったコマンド名のみを記載し、変更のなかったコマンドは省略しています。

〔参考〕 新設コマンド:25、機能強化コマンド:26

【ファイル】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
DWG・DXFファイルを開く	DWG・DXF読み込み保存オプション機能を強化し、重すぎる図面データを軽くするため微小直線の削減ができるようになり、以下の項目を追加しました。 DWG,DXF読み込み時 連続微小直線の削減/DWG,DXF読み込み時 スプライン曲線の分割数(0-50)	○
DWG・DXFファイル を現尺で開く		○
DWG・DXFファイルで保存		○
PDFファイルを開く	PDFの画像形式データ読み込みに対応しました。画像形式データ読み込み時には、解像度、書き込みレイヤ、傾き補正角度、カラー・モノクロの指定が可能です。	○
SIMファイルを開く	測量系データファイル形式、SIM形式ファイルの読み込みに対応しました。	◎
CSV座標ファイルを開く	XY座標点が指定されたCSV形式ファイルの読み込みに対応しました。	◎
連続印刷	「プリセット設定」を強化し、用紙サイズ選択・原点オフセット値の保持が可能になりました。	○
印刷		○

【編集】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
ストックムーブ	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
ストックコピー		○
ストックローテートムーブ		○
ストックローテートコピー		○
ホールド		○
マルチコピー		○
マルチムーブ		○

【表示】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
文字ペンの選択	文字専用のカレントペンを指定できます。	◎
カーソル設定	カーソルの画面表示上の表示幅の指定ができます。	○
画面情報の表示	以下の項目が追加されています。 文字ペンを作図ペンとは別に管理する/編集ストック編集ホールドで補助線を除外する	○

【作図】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	区分
中心線	範囲枠円の中心線	範囲枠内の複数の円に指定の中心線を作図します。	◎
曲線	螺旋	横幅・縦幅・回数、横幅・間隔・回数の指定による螺旋状の曲線を作図します。	◎
文字	位置サイズ角度変更	仮想枠指定による、文字サイズ・角度の変更、扇状配置や位置の変更ができます。	◎
	範囲枠位置サイズ変更	範囲枠内の複数文字列に対して、X・Yの移動量指定による位置変更や、文字高・文字幅・文字間隔の変更ができます。	◎
	文字一括編集	編集後の文字列配置項目を増やしました。中央揃え/終点揃え	○
	文字列の一部を強調	入力済みの文字列を1文字単位に分解し、フォントやペン色を変更できます。	◎
	文字列の分解	[設定]-[文字の配置設定]で指定されている配置状態のまま保持するため、文字列を1文字ごとに分解します。	◎
文房具	角型スタンプ	図面に押印したようなイメージの、角型スタンプ、丸型スタンプ、日付入り3段スタンプを作図できます。スタンプ内の文字、フォントやサイズを自由に設定でき、形状は一般的なビジネスタイプのスタンプに準じています。	◎
	丸型スタンプ		◎
	丸型3段スタンプ		◎
	マークスタンプ	図面中にマーク形状のスタンプを作図できます。	◎
	修正テープ	図面に白色の修正テープを貼ったようなイメージのデータを作図します。	◎
	文字マーカー	文字を強調するために、マーカーペンで書き足したようなデータを作図します。	◎
補助線	要素間隔線	円、円弧を対象にできるようになりました。	○

補助線	補助線削除	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
	データの補助線化	直線、円、円弧データをペン番号はそのままに補助線に変更します。	◎
	補助線のデータ化	補助線をペン番号はそのままに、直線、円、円弧の作図データに変更します。	◎

【寸法】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階 層 1	階 層 2	新設、機能拡張内容	区分
指示線	データから注釈線	作図済みの文字サイズ情報を取得し、[引き出し注釈線]コマンドへ進みます。	◎

【加工】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階 層 1	階 層 2	新設、機能拡張内容	区分
複写	複数指定複写	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
	Z面の回転複写	回転角・距離・回数の指定により螺旋階段状の図形の作図ができます。	◎
移動	複数指定移動	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
	Z面の回転移動	回転角の指定により螺旋階段状の1ステップ分の図形の作図ができます。	◎
図面間複写移動	図面間複写元指定	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
	図面間複写元 複数指定		○
	図面間移動元指定		○
	図面間移動元 複数指定		○
表示図面の軽量化	連続微小直線を削減	指定した範囲枠内の連続した微小直線を一定の長さの直線に置換します。 さらに長さ=0の点を削除します。	◎
	連続微小直線を円弧に置換	指定した範囲枠内の連続した微小直線を可能な限り円、円弧に置換します。	◎
部分出力図面作成	_____	開いている図面から、指定の用紙サイズ、縮尺に合わせた部分出力用図面を作成します。	◎

【設定】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
文字の配置設定	文字列内の配置バランスを設定します。	◎
スタートメニュー	起動時にボタンクリックにより簡単に最初の動作を開始できます。	◎
システム設定	以下の項目が追加されています。 メニュー表示タイプの切替/スタートメニューの表示再開	○
[エーティ]フォントインストール	ユニコード対応の日本語・簡体字・繁体字・韓国語フォントに極細ゴシック体を追加しました。	○

【その他】

項 目	機能内容
セキュリティへの対応	Windows11に搭載されている強力なセキュリティ機能である「スマートアプリコントロール(SAC)」を初めとしたセキュリティに対応するため、最も厳格なEVコードサイニング証明書に対応しました。
状態表示のツールバー	文字のカレントペン項目を追加しました。
ファイルメニュー全般	図面の読み込み速度を向上させました。
DWG、DXFファイル	さらに、コンパットの精度を向上させました。
保存時のファイル名	ファイル名に、「.」(半角のピリオド)を使用できるようになりました。
作図画面	非作図領域をグレー表示にし、作図領域との区別がつきやすくなるようにしました。
カーソル表示	十字カーソルとラバーバンドが重なったときの表示を改良しました。
編集コマンドの高速化	グループ、ストック、ホールド、マルチの各コマンドの描画速度を高速化しました。